

日 時：2024年12月1日（日）18:00～19:10

場 所：八千代文化施設フォルテ

参加者：9名

○対話集会でいただいた意見や要望をまとめました。

## 1 統合そのものについて

- ・統合は反対派だったが、資料を見ると1校と思うようになった。
- ・最初は統合賛成だったが、色々話を聞き、今は統合反対というか可能なのか疑問に思う。
- ・今よりも良い統合を進めてほしい。
- ・校数の変更や、白紙になることがあるのか。

### 【市長コメント】

それなりの理由が市民から出てくれば（白紙になる可能性も）ゼロではありません。まちづくりの観点から考えると、中学校がないところに人が来るのか、という意見もあります。統合することで、移住者が減る可能性もあります。

- ・パブリックコメントを公表されないのはなぜか。

### 【教委コメント】

理由はありません。手筈としては、パブリックコメントの返答と計画策定に入りたかったですが、市長選挙やこの場を設けることになったため遅れています。

### 【参加者コメント】

端的に言うと市長が変わったからか。

### 【教委コメント】

そういうことになります。

- ・パブリックコメントも必死になって考えて出した。市長が1校ありきでないと発言される理由が知りたい。これまでの説明では1校案が望ましいとされていて、それを基に素案も出されている。市長が変わりゼロベースになってもよいが、市民に何も説明がない。今の状況がわからない。統合しない選択肢もあるのか。

### 【市長コメント】

市民から、説明が不十分という意見があったため今回の対話集会を設けました。1校、2校で素案が出ています。基本的にひっくり返す思いはないが、市民からの反対という大きなうねりがあればあり得ます。パブリックコメントは返していきますが、タイミングは教育委員会が判断します。

- ・パブリックコメントと対話集会で出た意見は、ベースが違うため別物になると思う。パブリックコメントの返事もなく、対話集会をされても納得がいかない。
- ・行政手続法には、パブリックコメントの返答期限に定めはないが、意見をした者としては、回答が欲しいと思っている。真摯に対応してほしい。

### 【教委コメント】

真摯に対応します。遅れていることは申し訳ありません。

### 【参加者コメント】

遅れている理由を公表してほしい。

### 【教委コメント】

検討します。

## 2 校数と位置について

- ・通学の負担を考えると2校案が良いと思う。
- ・施設の複合化を考えるのはありだと思うが、既存校舎を使った方が良いのではと思う。

### 【市長コメント】

通学やまちづくりの観点から、2校統合という意見があります。通学に対する意見が多く、1校に統合した場合、概ね1時間とされている通学時間を超える可能性もあります。

## 3 教育について

- ・説明資料にある生徒数と先生の人数から計算すると、先生1人が16人の生徒を見ている計算になる。統合する場合、先生1人あたりが見る生徒の数は増えるのか。

### 【教委コメント】

教員の配置は基準（クラス数）で決まります。統合しクラス数が増えることで、専科科目の教員の配置が増えます。

- ・統合により、技能教科は良くなるが、先生1人あたりが見る子どもの数は増えると思う。副担任を付けるなどして、手厚くしてほしい。

### 【市長コメント】

現在も市費で教員を加配しており、引き続きやっています。

## 4 通学について

- ・スクールバスの台数が確保できるのか、乗れない場合はどうするのか。部活動の地域移行もどうなるのか。

## 5 生徒数について

- ・お金があれば、6校存続することもできると思うが、生徒数が10人以下になっては残すのは難しいと思う。

## 6 不登校について

- ・統合してもあすなろ（教育支援センター）は継続するのか。

### 【市長コメント】

不登校支援も考えないといけません。あすなろは、利用者から使いにくいとの話もあります。場所を含めて継続してやっています。

- ・自分の子どもがあすなろを利用していたが、保護者の送り迎えが必要。お太助ワゴンで通ったこともあるが、乗客から不登校の理由を聞かれたことがあり、利用できなくなった。
- ・統合することで不登校は増えると思う。あすなろに行くバスの運行を検討してほしい。

### 【市長コメント】

不登校は、50人程度いると思います。不登校の子どもの居場所の提供を考えていきます。

- ・フリースクールが認知されていない。このような場などで伝えてほしい。

## 7 財政について

- ・一番はお金だと思う。お金があれば通学の問題も解決できると思う。議員さんが何人か来ているが、議員の皆さんに教育に係る予算の確保をお願いしたい。

- ・説明資料 18 ページに「市の実質負担は建築費用の 20%」とあるが、説明資料 19 ページの長寿命化費用は、全額市費なのか。これも 20%の負担になるのか。

**【教委コメント】**

説明資料 18 ページ（学校の新設）については、国からの補助金 1/2、起債などがあるため、市の実質負担が 20%となります。説明資料 19 ページ（長寿命化の改修）については、国からの補助金は 1/3 であり、全額市費負担ではないが、新設するよりも市の負担が増えると思います。市の負担は 3~4 割程度ではないかと想定しています。

- ・長寿命化するよりも、1 校新設した方が安いということか。

**【教委コメント】**

経済的には 6 校維持が、一番お金がかかります。

## 8 まちづくりについて

- ・統合を考えるためには、市の今後のまちづくりのビジョンが大事。中学校統合だけではなく、まちづくりのビジョンを持って考えるべき。
- ・町から学校が無くなり、若い人がいなくなるという意見はそのとおりでと思う。自分も学校がある場所と考えて吉田町を選んだ。そういった選択をせざるを得ないと思う。

## 9 他市の事例について

- ・他市町で事例があるが、高齢者施設と学校を併設（施設の複合化）すれば、どんな方でも住みたいと思う要素になると思う。

## 10 その他

- ・説明資料 5 ページの「学校規模適正化委員会」は、どこの機関なのか。

**【教委コメント】**

市の教育委員会がつくった任意団体です。委員は、振興会代表、保護者代表、学識経験者（大学教授）などになります。

- ・学級編成は、国や県の決まりを基にしているのか。

**【教委コメント】**

国や県の決まりがあり、市内の小中学校の学級は、国や県の決まりに倣って編成しています。答申で「1 学級あたりの人数は、20 名~30 名程度」と示された理由は、答申策定時、10 名未満の小学校が多くあり、せめて 20 名~30 名は確保するべきとされたためです。この答申は、小学校だけでなく、中学校も同様の考え方で、小規模校解消の観点から、「1 学級あたりの人数は、20 名~30 名程度」としています。ただし、文部科学省の基準を変えてまで実施するというわけではありません。

- ・自分は広島市からの移住者のため、移住者の立場で意見する。町内に小中学校があり、まち（広島市）に近く仕事が続けやすい。自然（美土里町、高宮町）にアクセスしやすい環境。総合的に距離が丁度いいため八千代町に移住を決めた。統合問題に限らず、市民との対話の場が増えれば、良い案が出てくると思う。

**【市長コメント】**

移住者も含めてまちづくりをしていかないといけません。八千代町は広島市内から 1 時間程度の距離のため丁度いいと思います。働きに来ている人を取り込むことも大切です。

- ・自分は建設業だが、八千代町に移住してくる子育て世帯も多い。理由は、学校があり市内に

近いからと聞く。

- ・統合することで、6町意識を撤廃したいと考えている（町には学校がないが市にはある）。
- ・広島県は転出超過が全国一位というニュースを観たが、安芸高田市の場合、移住者の数と転出者の数はどうなのか。
- ・安芸高田市は外国人労働者が多く住んでいるが、取り残されているように感じる。外国人の就学率は。
- ・高校で中国人と交流する機会があった。英語以外の言語も勉強すれば良いと思う。外国人も一緒に色々なことをした方が良いと思う。

**【市長コメント】**

市として多文化交流をしています。12月15日に、技能実習生とサッカーをするイベントがあります。また、ごみの出し方を勉強する機会も設けています。